

4 勉強に関する自己評価

1) 文系と理系のどちらが好き

日米韓では文系が好きだと回答した者の割合が多く、中国は理系が多い。

「文系と理系のどちらが好きか」をみると、「文系」と回答した者の割合は、日本 42.6%、米国 40.2%、韓国 47.1%に対し、中国が 31.7%と低い。一方、「理系」と回答した者の割合は、日本と米国の 36%程度に対し、中国が 49.2%と高くなっている。

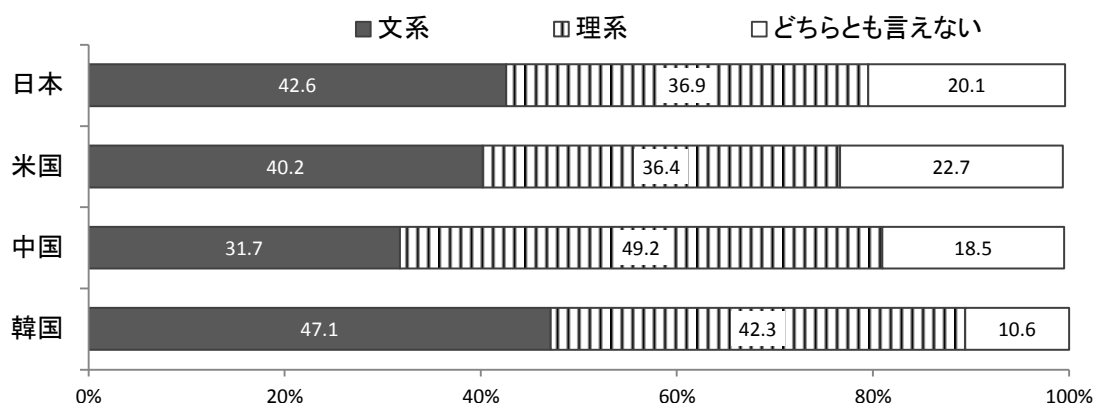


図 4-1 文系と理系のどちらが好きか

2) 得意なこと

日本の高校生は、「文章を読み解くこと」「文章を書くこと」「社会の出来事について考えること」「人の発表に対して質問や意見を言うこと」「グラフや表を見て内容を理解すること」について得意と回答した者の割合が、他の3か国に比べて低い。

学習に関連する8項目を示して「とても得意」「まあ得意」「あまり得意ではない」「得意ではない」の4段階で回答してもらった。米国と韓国は、すべての項目において「とても得意」「まあ得意」と回答した者の割合が高い。これに対し、日本は低く、特に、「文章を読み解くこと」「文章を書くこと」「社会の出来事について考えること」「人の発表に対して質問や意見を言うこと」「グラフや表を見て内容を理解すること」では、日本は他の3か国との差が大きい(図4-2)。

また、前出の「文系と理系のどちらが好きか」と得意なことをクロスしてみたところ、表4-1に示しているように、4か国とも文系が好きな者は、「文章を読み解くこと」「文章を書くこと」「社会の出来事について考えること」が得意で、理系が好きな者は、「計算問題を解くこと」「グラフや表を見て内容を理解すること」「自分で物を作ったり、実験したりすること」が得意であるとの傾向がみられた。「暗記すること」については、日本と中国は、文系のほうが得意であるが、米韓にはあまり差がなかった。「人の発表に対して質問や意見を言うこと」については、4か国とも文系と理系の差が大きくみられなかった。

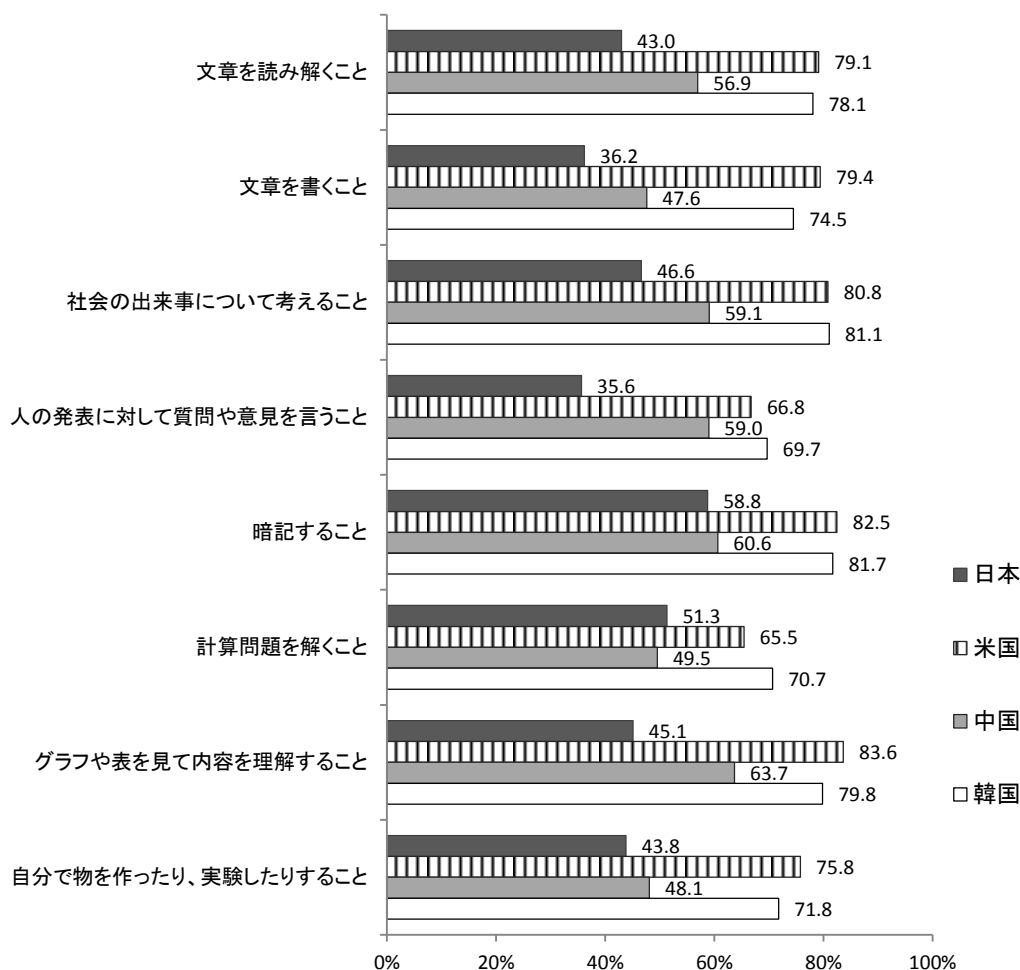


図 4-2 得意なこと(「とても得意」「まあ得意」と回答した者の割合)

表 4-1 「文系と理系のどちらが好きか」×得意なこと

	文系と理系のどちらが好きか							
	日本		米国		中国		韓国	
	文系	理系	文系	理系	文系	理系	文系	理系
・文章を読み解くこと	55.5	32.7	86.5	73.8	67.8	50.9	77.2	81.7
・文章を書くこと	49.1	24.6	88.1	75.5	59.1	40.4	79.3	73.2
・社会の出来事について考えること	55.6	41.4	87.6	78.2	63.0	57.1	85.9	78.9
・計算問題を解くこと	31.5	75.6	49.2	88.2	27.2	68.3	59.4	84.8
・グラフや表を見て内容を理解すること	36.5	58.5	80.2	91.8	58.9	70.0	73.5	89.2
・自分で物を作ったり、実験したりすること	36.0	51.7	70.6	83.8	43.3	52.0	65.8	80.6
・暗記すること	67.4	54.7	83.3	86.6	67.8	58.1	84.4	81.3
・人の発表に対して質問や意見を言うこと	38.6	35.1	68.2	68.9	59.3	62.8	71.7	69.8

* 数値は「とても得意」と「まあ得意」の割合の合計である。

3) 成績について

日本の高校生は成績が「上位」「中の上の方」と回答した者の割合が少なく、4か国中最も低い。自分の成績への満足度も米中韓に比べて低い。

成績の自己評価について、「上位」と回答した者の割合は、4か国とも1割強で、大きな差がみられなかったが、「下位」の割合は、日本の2割弱に対し、韓国7.9%、中国5.6%、米国0.5%と低くなっている。米国の高校生は、「中の下」「下」と回答した者が極めて少ない(図4-3)。

自分の成績への満足度をみると、「とても満足している」と回答した者の割合は、日中韓が4%以下であるのに対し、米国が2割強と高い。「まあ満足している」の割合も、米国が5割を超え、日中韓の2割前後と大きな差がみられた。一方、「全く満足していない」の割合は、日本34.2%、韓国24.3%、中国13.5%、米国4.4%であり、日本が4か国中最も高い(図4-4)。

また、「よい成績をとるために頑張りたいと思うか」の問いに対し、「今よりよい成績をとるためにがんばりたい」と回答した者の割合は、日本と韓国が7割強と高い。「もっとよい成績はとりたいたが、そんなに頑張ろうとは思わない」の割合は、中国が3割強と高い。「別によい成績をとりたいたとは思わない」という者は4か国ともごく少数である(図4-5)。

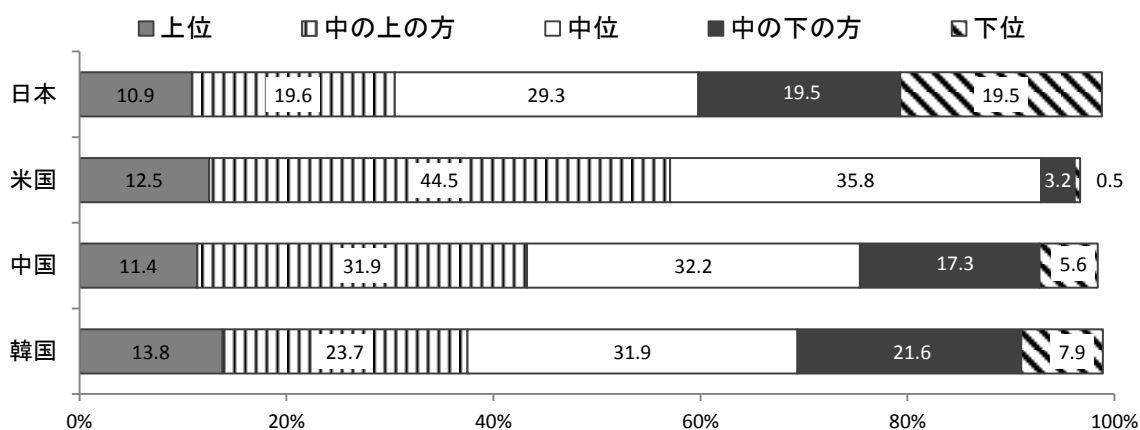


図4-3 総合的な成績は、クラスの中でどこに位置しているか

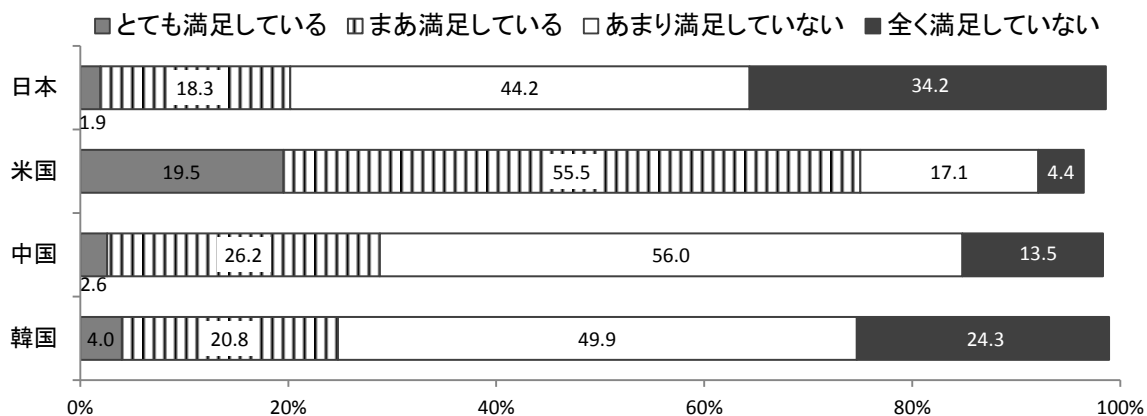


図4-4 自分の成績に満足しているか

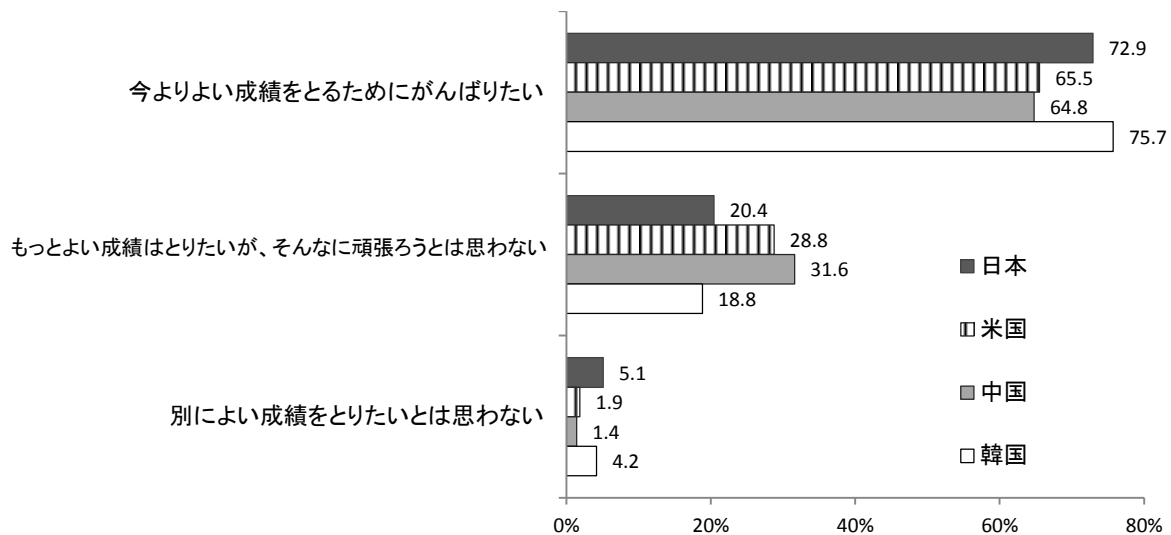


図 4-5 よい成績をとるために頑張りたいと思いますか

また、自分の成績への満足度と、よい成績をとるための意欲を成績別でみると、4か国とも成績がよい者ほど、成績への満足度が高く、もっとがんばりたいという意欲も強くなっている（表 4-1～図 4-2）。

表 4-1 成績別「自分の成績に満足しているか」

	日本			米国			中国			韓国		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
とても満足している	3.9	1.0	1.0	30.7	5.1	3.4	4.3	1.1	1.7	7.6	1.7	2.1
まあ満足している	31.1	19.6	7.3	55.9	62.9	22.4	42.2	18.4	8.9	30.8	19.9	9.6
あまり満足していない	46.1	50.8	37.8	11.0	25.7	39.7	47.5	70.4	55.4	48.0	54.5	48.8
全く満足していない	17.6	27.7	52.4	1.9	5.8	31.0	6.0	10.0	33.6	13.6	23.7	39.0

*「上」:「上位」+「中の上の方」、「下」:「中の下の方」+「下位」。以下同様。

表 4-2 成績別「よい成績をとるために頑張りたいと思うか」

	日本			米国			中国			韓国		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
・今よりよい成績をとるためにがんばりたい	78.0	>73.4	>68.8	70.4	>64.7	>50.0	70.1	>66.7	>56.1	85.5	>75.8	>65.3
・もっとよい成績はとりたいが、そんなに頑張ろうとは思わない	16.1	<20.8	<23.4	27.8	32.4	31.0	28.4	<32.7	<38.3	11.9	<20.6	<26.6
・別によい成績をとりたいとは思わない	4.4	4.6	6.0	1.3	1.6	13.8	0.7	0.2	4.5	2.4	3.0	7.5